

**製品名: SREC-II ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18266**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	SCARF2
別名	SCARF2; SREC2; SREPCR; Scavenger receptor class F member 2; SRECRP-1; Scavenger receptor expressed by endothelial cells 2 protein; SREC-II
遺伝子 ID	91179.0
SwissProt ID	Q96GP6
免疫原	抗血清はヒト SCARF2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 677-726

**背景**

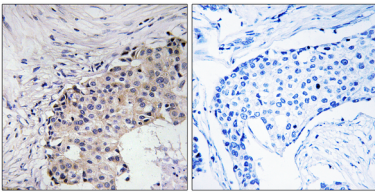
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、アセチル化低密度リポタンパク質（Ac-LDL）の結合と分解を媒介するスカベン

ジャー受容体タンパク質である SCARF1/SREC-I に類似している。このタンパク質は、修飾低密度リポタンパク質 (LDL) を内部化する活性は低い。細胞外ドメインを介して SCARF1 と相互作用する。このタンパク質と SCARF1 の結合は、スカベンジャーリガンドの存在によって抑制される。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 同種親和性および異種親和性相互作用を媒介する接着タンパク質と考えられる。SCARF1 とは対照的に、アセチル化低密度リポタンパク質 (Ac-LDL) の結合と分解を媒介する能力は低い。類似性: 7 つの EGF 様ドメインを含む。サブユニット: 細胞外ドメインを介して同種親和性および異種親和性相互作用する。SCARF1 と相互作用する。SCARF1 との異好性相互作用は、SCARF1 自身との同好性相互作用よりも強く、Ac-LDL などの SCARF1 リガンドの存在によって抑制される。組織特異性: 主に内皮細胞に発現する。心臓、胎盤、肺、腎臓、脾臓、小腸、卵巣に発現する。、

## 研究分野

心血管系; 血管系; 内皮

## 画像データ



SCARF2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。